

平成25年度事業報告書

新潟市南区白根北児童館

1. 乳幼児事業

(1) 総括

乳幼児の親子の利用が昨年度よりも多くなっています。今年度は児童館が地域に周知され、南区だけでなく、西区や中央区からも親子連れが遊びに来てくれたことが影響していると考えられます。また、昨年度末に開催したB P講座の受講生が、母親サークル『キューピー』を立ち上げ、児童館を拠点に活動したことで、定期的な利用者が確保できていたことも大きく影響していると思います。

白根北児童館の乳幼児の利用は、0～3歳まで子どもを持つ親子の利用が多く、幼児の親子は午前中の利用数が伸びています。乳幼児期は月齢によって遊び方が大きく異なるので、児童館では年齢で区切ったイベントを実施しています。対象を明確にすることで、遊びの幅を広げることや保護者同士のつながりを強めることができたと思います。特に乳児の保護者は、家庭で子どもと二人きりで過ごす時間が多く、子育ての不安や孤独を感じ、孤立しがちです。地域の中で、保護者同士の交流・学び・支えあいの場として、親子が安心して集まれる居場所になってきているのを感じます。児童館で保護者同士をつなぎ、情報交換や会話を楽しんでリフレッシュしてもらうことができていると思います。

① いちごタイム

毎週火曜日の午前中に定例イベントとして、『いちごタイム』を開催しました。『いちごタイム』は入園前の幼児を主対象としていますが、月齢の低い乳児の親子もイベントの雰囲気を楽しみに参加できるように配慮しています。今年度は2歳児の子どもの参加が多かった年でした。南区以外からの参加もあり、西区や東区といった地域からの参加もみられました。

『いちごタイム』の内容は、今月の歌・手遊び・親子体操・紙芝居・パネルシアター等で、楽しい雰囲気を実施しています。また、担当する職員によってリズムあそびを取り入れたり、体を動かすアスレチックあそび、新聞紙を使って遊んだりと内容もさまざまなので、毎回参加することを楽しみに来てくれています。遊戯室は広く、夏は涼しく、冬は温かいので気持ちよく遊べ、職員も参加しやすい雰囲気づくりを大切に運営しています。参加者の多くは母親が子どもを連れて来てくれています。父親や祖母父などさまざまな世代の大人が子どもを連れて参加してくれているのが特徴です。

② つくって遊ぼう

毎月第4木曜日の午前中に簡単な工作イベントを実施しました。親子で一緒に工作を楽しむ事を目的としています。工作は主に幼児を対象としています。ある程度の年齢に達していないと作業は難しいので、幼児でも楽しめるように、シールを貼る、絵を描く作業を中心に行っています。

『こいのぼり』や『クリスマスリース』、『おひなさま』等の季節のイベントに合わせた工作や、洗濯ばさみやストローを使った工作等を行いました。参加した利用者からは、「製作した作

品を使って、家ではこんな風に遊んでいます」と様子を聴いて、私たち職員も喜びを感じています。

③ コアラタイム、パンダタイム

絵本や紙芝居等を年齢別に行うイベントとして、第1木曜日に0、1歳児を対象とした『コアラタイム』、第3木曜日に2、3歳児を対象とした『パンダタイム』を開催しました。対象を分けることで、年齢に見合った教材が選びやすく、情操を育むことができると思っています。参加する保護者も、同じ年齢の子どもがいることで、気軽に保護者同士が会話をを行い、育児の情報交換ができることが人気のようです。

④ ラッコタイム

7月と8月に夏季限定のイベントとして、多目的広場で水遊び『ラッコタイム』を開催しました。ラッコタイムでは、大きいビニールプールと1つと中くらいのビニールプールを用意し、2か所で広々と遊べるように設定し、開催しています。

『ラッコタイム』は、子どもの膝下程度の水量で、ぞうさんのジョウロやひよこのおもちゃ、スコップ等のおもちゃで遊びます。イベントは午前10時30分から11時30分の1時間、自由に参加できます。子どもの体力を考え、遊べる時間を1組30分に設定しています。毎回5組を超える親子の参加でイベントが賑わっていました。残念なのは、梅雨明けが遅く雨の日が多くなり、2か月間で4回しか開催できませんでした。天候に左右されてしまうイベントの難しさも痛感しました。

⑤ ホット・ほっとタイム

毎月第3木曜日に子育てを行っている保護者を対象とした『ホット・ほっとタイム』を開催しました。イベント名になっているように、子育てを行っている保護者に少しでもホットと一息つける時間を持ってもらいたいと思い、イベントを実施しています。内容は、一息つくためのコーヒーや紅茶を参加者同士でお喋りしながら飲む会や、フラワーアレンジメントやアロマオイルを使い、オリジナルハンドクリームを作ったりしました。参加者達から好評で、イベントを楽しみに毎月10組以上の参加者が集まっています。

⑥ ちびっこ運動会、ミニミニ運動会

昨年度に引き続き幼児対象の大きなイベントは、春と秋にちびっこ運動会とミニミニ運動会を開催しました。幼児期の半年の成長は驚くほど早く、ハイハイしていた子が歩けるようになり、歩いていた子は走れるようになります。子どもの成長によって参加できる種目や競技が異なるので、幼児期の子どもの成長スピードを考え、児童館では毎年2回運動会を開催しています。幼児期は一人あそびが多く、周りの子どもと一緒にあそぶ、集団あそびの経験が乏しいです。運動会ではかけっこや障害物競争、玉入れ、チャレンジゲーム等の種目を行いました。子ども同士の競争はせず、運動会を体験することを目的として行っています。参加してくれた子どもたちは、いつもと違う児童館の雰囲気戸惑う子どももいましたが、笑顔いっぱい楽しんで参加してくれました。

また、今年度もイベントを日曜日に開催することで、多くの参加者が父親や祖父母と一緒に参加し、家族全員参加イベントとして開催でき、保護者からはとても好評でした。

⑦ B P 講座 (ベビープログラム)

2月の第3週水曜日から4週にわたり、水曜日の午後にB P 講座を開催しました。生後5か月から8か月までの第一子を持つ母親を対象としたイベントです。親子15組もの参加があり、毎回出産や育児についてテーマを設け、参加者同士で話合いました。「子育てに悩んでいるのは一人じゃないよ」と、悩みを解決するのではなく、みんなで共有しました。初回は表情の硬かった参加者が回を重ねるごとに明るくなり、近くにいる参加者と楽しく話せるようになりました。講座終了後は、「今後も繋がりたい!」、「また会って話したい!」という言葉が聞かれ、一人の参加者がまとめ役になり、講座とは関係なく次回も会う約束をしていたようです。今後、参加者達がまとまりサークル化していくのかは解りませんが、見守っていきたいと思っています。

⑧ 移動児童館

今年度から幼稚園・保育園向けのイベントとして移動児童館を始めました。9月に大通保育園、11月に根岸保育園、2月に大鷲保育園と南区北部地域の3つの保育園を回りました。移動児童館は、児童館から職員が幼稚園や保育園に出向き、園児向けのイベントを開催します。内容は手遊びや体操を行った後に、カプラを使ったワークショップを行います。カプラは2,000ピースを持参し、クイズ形式で問題を出しながらカプラの知識を学び、『ねる、おきる、たつ』の基本の置き方を教えます。そこからは、年齢に合わせたプログラムを約30分から40分間行います。

移動児童館は、園児に児童館を知ってもらうこと、児童館職員とふれあうことを目的として開催しています。参加してもらうことで、子ども達に児童館を身近に感じ、小学生・中学生になった時に、より児童館を気軽に利用できるのではないかと考えています。

⑨ バスでお出かけ

7月と10月に、きたもんクラブさん主催で『バスでお出かけ』を開催しました。きたもんクラブさんは、南区北部地域の子育てボランティア団体です。メンバーは児童館の行事にもボランティアとして参加してくれています。

7月には親子10組26名で動物ふれあいセンターに出かけてきました。バス1台を貸切り、バスの中で手遊びや紙芝居を楽しみました。帰りのバスでは遊び疲れた子どもたちが、ぐっすりと眠っていました。

10月に行った2回目では、イベントがロコミで広まり、参加者が18組43名にまで増えました。想定していた人数よりも参加者が多くなってしまったので、急遽バスを2台に増やし実施しました。目的地の加茂山公園では、リスのえさやりや長いすべり台を親子で楽しむ姿が見られました。

(2) 来期の目標・課題

開館してから2年が経ちました。児童館の近隣に住んでいる人たちから認知され始め、母親や父親と一緒に来館するだけでなく、祖父母が孫と遊びに来てくれるようになっていきます。

た、近隣の西区や中央区からも利用者が増えてきています。利用者同士の繋がりや、利用者がさまざまなところで開催されている子育て支援講座等に参加し、知り合ったママ友を連れて来てくれているようです。さらに、より多くの利用者から来館してもらうために、児童館の情報を南区内だけでなく、西区や中央区、東区の子育て施設にも利用案内や月のお便りを発信していこうと思います。

利用者は、児童館で開催しているイベントの参加を楽しみに来館してくれています。今期は利用者のニーズを把握しながら、保護者にも子どもにも楽しいイベントの企画をおこなってきました。親子であそびを楽しみ、子どもとふれあってもらうことや利用者と職員の間を深めること等を考えイベントを運営していました。来期は、昨年度おこなってきた親子の関係を深めてもらうこと、利用者同士が繋がれることを目標にしたいと思います。また、利用者自身が主役となり、一緒にイベント準備や運営をおこなっていけるような利用者を育てていきたいと思っています。

① 保育園・幼稚園向けのイベント開催

今年度の乳幼児の来館状況は、未就園児の利用が多く、0～3歳児が幼児の来館者の主流となりました。3～6歳児の利用は、保育園や幼稚園帰りに利用したり、土・日・祝日には父親と一緒に来館する姿が見られました。来期は幼児の利用が土・日・祝日にもあることから、運動会のように休日に幼児向けのイベントを企画していきたいと思っています。

また、幼児向けのイベントを保育園児・幼稚園児向けイベントとして、移動児童館に引き続きチャレンジしていきたいと考えています。

② 子育て支援講座の開催

今年度は外部から講師を招き、BP講座を開催しました。BP講座を開催することで、利用者同士が仲間意識を持ち、講座終了後、母親サークル『キューピー』が立ち上がりました。月1回集まり、遊ぶ姿が児童館で見られました。

また、講座を開催することで、利用者が子育てについての知識を獲得する機会を広げていきたいと思っています。さらに児童館では、親たちが自ら学びあい、子育てを楽しみ、父親も子育ての輪に入っていける取り組みを行うことができるとしています。子育て中の保護者だけではなく、子育て支援者を地域から育成し、地域全体で子どもを育てるという意識の高い地域作りを行いたいと考えています。そのために、開催する講座には地域の住民やボランティア団体のメンバーにも声掛けを行い、地域参加型の講座を開催したいと考えています。

2. 小学生事業

(1) 総括

今年度の小学生の延利用者人数は、5,282人と今期も来館者のカテゴリーで一番多い利用者数となりました。夏休みや冬休み等の長期休みには毎日のように遊びに来てくれる小学生が多くいました。子どもたちの生活の中に児童館が根付いてきているのを感じています。

小学生の授業時間が延び、昨年度より子どもたちの帰宅時間が遅くなっています。学校から小学生が帰宅し児童館に遊びに来ると、遊ぶ時間が30分もない日が多くあります。高学年の子どもたちは、平日に遊びに来るのが、難しくなっています。職員は子どもたちと触れ合う時間が減ってきている環境の中、子どもたち一人ひとりの思いを受け止めることを大切にしています。子どもたちのさまざまな声に耳を傾け、一緒に笑ったり、喜んだり、真剣に考える時間を重ねてきました。子どもたちからも、「今日は〇〇先生いないの？」等、職員に会うことや会話をすることを楽しみに来館してくれる子も見られます。子どもたちとの信頼関係を築くことで、児童館が単なる遊び場になるのではなく、子どもたちが安心できる居場所になり、親にも友だちにも言えない悩みを聴いてくれる大人のいる場所となるのではないかと考えています。

① 毎月のメイン行事

『ドッジボール大会』、『バドミントン大会』等のスポーツ大会、『ハロウィンを楽しもう』、『クリスマス会』、『七夕コンサート』等の季節のイベント、『夏まつり』や『2周年祭』、『卒業進級お祝い会』等のお祭りイベントを児童館の目玉行事として、毎月1回開催してきました。メイン行事を行うことで、子どもたちが『児童館』に足を運ぶ機会を増やしたいと考えています。子どもたちが行事に参加することで、『児童館』＝『楽しい場所』というイメージを持ってもらえたのではないかと思います。

また、子どもたちにはイベントに参加するだけでなく、イベントを企画し作り上げる楽しさを味わってもらいたいと考え、子どもたちから意見やアイデアを聞き、積極的に取り入れてイベントを開催しています。イベントの企画準備から関わってもらうことで、達成感や成功体験等を同時に経験できるようにしています。

② わくわくタイム

毎週木曜日の午後4時30分から遊戯室や3オン3コートで、ドッジボールやサッカー、バスケットボール、おにごっこ等のさまざまな遊びを行っています。1年生から6年生までの異年齢の子どもたちが、一緒に遊んでいます。低学年の児童に対しては、職員が積極的に遊びに関わり、子どもたちが楽しんで遊べるように配慮しています。高学年の児童に対しては体を動かす楽しさ、集団遊びから友だちの大切さ、低学年への思いやり等を培います。

子どもたちからは「次のわくわくタイムは何をするの?」、「今日はわくわくタイムないの?」等の声がかけられます。子どもたちは、みんなで遊べる『わくわくタイム』を楽しみに来館しているのを感じます。

③ つくって遊ぼう

工作イベントとして、毎月第4土曜日に『つくって遊ぼう』を開催しました。工作イベントでは、身近な素材を使った工作遊びを通じて、物を作る楽しさ、作ったもので遊ぶ楽しさを知ってもらいました。また、活動に応じて道具の使い方等も学習できるように配慮しています。

今年度は『小麦粉ねんど』や、牛乳パックで作る『ブーメラン』、『プラ板キーホルダー』等の工作を行いました。各回定員を8名に設定し予約制としています。予約制にしたことで、子どもたちが保護者にイベント日に遊びに来館できるかを確認したり、時間を見て遊びに来たりしています。予約制からは約束を守る、時間を守る等の社会性を学んでほしいと思っています。

す。

(2) 来期の課題

① 子どもたちと一緒につくる児童館

今年度は職員が子どもたちの中心になり、イベント企画や進行を行ってきました。子どもたちにイベントや遊びを通じて、児童館を楽しんでもらえたのではないかと感じています。次年度では、子どもたちがイベントや遊びに参加するだけでなく、子どもたちだけで遊びを発展できるように、コーディネートしていきたいと考えています。

子どもたちを『育てる対象』として捉えるのではなく、子どもたち自身を『育つ主体者』として位置づけ、関わっていききたいと思っています。そのために、遊びや活動、部屋やスペース（環境）について話し合う『子ども会議』などの企画をより充実していきます。子どもたち自身でイベントを運営することを大切にし、自分たちでイベントをつくっていくプロセスを大事にしたいと考えます。

② 農園から食育へ

子どもたちには、『食育』をテーマに農園で野菜作りを一緒に行いました。野菜の苗を植えるところから参加してもらい、『苗を植え、水を与え、収穫して食べる』までの一連を体験しました。今年度は春に植えた野菜を夏に収穫した野菜を使って職員がカレーを作り、幼児の親子や小学生と一緒にカレーライスをいただきました。普段野菜を食べない子どもも、採れたての野菜を使うことで野菜を食べてくれました。スーパー等で野菜を買って食べるのは簡単ですが、自分達で苦労して作った野菜を収穫して味わうことで、野菜本来の味を知ることができるのではないのでしょうか。まずは、子どもたちには、食に興味を持ってもらい、日頃の食事に対する感謝の気持ちやありがたさについて考えてもらう機会になったのではないかと思います。

3. 中学生・高校生事業

(1) 総括

中学生・高校生の1日当たりの平均利用者は、約7名でした。平日は部活動や塾などの理由から来館できない生徒が多いので、土曜日と日曜日中心の利用となりました。

児童館に遊びに来る中学生・高校生は、部活動のグループでの来館が特徴です。今年度は、部活動を引退した3年生の男子が多く遊びに来てくれました。中学2年生の女子バスケットボール部員やサッカー部員、野球部員等の運動部員も多く来てくれていました。

遊びの内容は、3オン3コートでバスケットボールやサッカーの試合を行ったり、遊戯室でバドミントンや卓球などで体を動かして過ごしていました。また、集会室でウノやトランプ、将棋等を行う姿も見られました。昼間の時間帯も遊びに来ていたことから、3オン3コートや遊戯室は小学生と一緒に利用してもらいました。そんな中、小学生と一緒に遊んだり、面倒を見てくれる中学生・高校生が多くいました。そのため小学生たちは、中学生・高校生のお兄さんやお姉さんによく懐いていました。小学生が、「今日は中学生のお兄さんは来ないの？」と一緒に遊ぶことを楽しみに来館することもありました。職員は午後6時以降中学生・高校生と一

緒に遊びながら、悩みを聞いたり、アドバイスをしています。中学生・高校生にとって、児童館は単なる遊び場ではなく、『居場所』として考えてくれているようです。

多感な中学生・高校生にとっては、この『居場所』としての機能が児童館としては大切だと考えています。児童館のP・Rを行い、中学生・高校生の来館を促進して、彼ら彼女らの悩みを聞きながら、『居場所』を確立していきたいと思います。

(2) 来期の課題

① 中学生・高校生イベントの発展

今年度は中高生向かのイベントとして、中高生向かシアターの開催やスポーツ大会を企画し、実施してきました。参加はグループでの参加が多く、イベントを通して中学生や高校生同士が交流する場面が見られませんでした。イベントを行うことで、中学生・高校生のグループ同士の交流が行われ、友だちの輪が広がればと考えています。

① ボランティア実習の受け入れ

ボランティアバンクに中高生にも登録をしてもらい、イベントの企画や運営などを、一緒に行いたいと考えています。今年度は学習館で実施している職場実習やボランティア実習の受け入れ先として登録を行いました。学習館に中学生・高校生のボランティア参加申し込みがなく、受け入れを実施することができませんでした。来年度も受け入れ先として登録を行い、中学生・高校生と児童館の接点をさらに増やしていきたいと考えています。

平成25年度 白根北児童館利用者集計表

1. 年間利用者総数	16,267 人(男 6,912 人,女 9,355 人)		
	前年との比較	-4.5 %	-760 人減
	平成23年2月1日開館以来の延来館者数		36,687 人
年間総開館日数	358 日		
1日平均利用者数	45.4 人		
	前年との比較	-4.5 %	-2.1 人減

2. 区分別利用状況(年計)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	幼児 (未就児)	男	136	135	180	248	180	210	217	202	207	208	244	270	2,437
		女	115	98	130	183	174	123	186	150	181	176	198	256	1,970
		計	251	233	310	431	354	333	403	352	388	384	442	526	4,407
		1日平均	8.4	7.5	10.3	13.9	11.4	11.1	13.0	11.7	13.9	14.2	15.8	17.0	12.3
	小学生	男	245	201	178	300	349	147	150	108	69	84	82	203	2,116
		女	283	131	289	364	407	242	230	217	218	193	205	387	3,166
		計	528	332	467	664	756	389	380	325	287	277	287	590	5,282
		1日平均	17.6	10.7	15.6	21.4	24.4	13.0	12.3	10.8	10.3	10.3	10.3	19.0	14.8
	中学生	男	111	114	177	159	109	121	167	77	103	57	54	231	1,480
		女	118	78	51	49	40	30	65	33	41	11	34	102	652
		計	229	192	228	208	149	151	232	110	144	68	88	333	2,132
		1日平均	7.6	6.2	7.6	6.7	4.8	5.0	7.5	3.7	5.1	2.5	3.1	10.7	6.0
	高校生	男	42	47	19	21	30	16	9	8	16	9	10	31	258
		女	2	5	0	2	2	0	4	3	1	0	4	12	35
		計	44	52	19	23	32	16	13	11	17	9	14	43	293
		1日平均	1.5	1.7	0.6	0.7	1.0	0.5	0.4	0.4	0.6	0.3	0.5	1.4	0.8
	大人 (18歳以上)	男	45	52	49	67	59	25	43	58	51	48	49	75	621
		女	227	204	275	373	317	261	314	257	279	289	333	403	3,532
		計	272	256	324	440	376	286	357	315	330	337	382	478	4,153
		1日平均	9.1	8.3	10.8	14.2	12.1	9.5	11.5	10.5	11.8	12.5	13.6	15.4	11.6
合計	男	579	549	603	795	727	519	586	453	446	406	439	810	6,912	
	女	745	516	745	971	940	656	799	660	720	669	774	1,160	9,355	
	計	1,324	1,065	1,348	1,766	1,667	1,175	1,385	1,113	1,166	1,075	1,213	1,970	16,267	
	1日平均	44.1	34.4	44.9	57.0	53.8	39.2	44.7	37.1	41.6	39.8	43.3	63.5	45.4	

3. 学年別利用状況(年計)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	1年生	男	9	13	31	28	30	10	10	10	4	7	7	13	172
		女	21	19	22	10	30	26	12	14	19	12	16	27	228
		計	30	32	53	38	60	36	22	24	23	19	23	40	400
		1日平均	1.0	1.0	1.8	1.2	1.9	1.2	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	1.3	1.1
	2年生	男	38	25	36	60	56	24	20	25	10	19	25	42	380
		女	34	32	115	114	88	70	62	77	57	72	60	118	899
		計	72	57	151	174	144	94	82	102	67	91	85	160	1,279
		1日平均	2.4	1.8	5.0	5.6	4.6	3.1	2.6	3.4	2.4	3.4	3.0	5.2	3.6
	3年生	男	20	20	11	41	51	10	21	12	2	7	6	39	240
		女	19	9	37	52	56	27	27	30	16	21	39	42	375
		計	39	29	48	93	107	37	48	42	18	28	45	81	615
		1日平均	1.3	0.9	1.6	3.0	3.5	1.2	1.5	1.4	0.6	1.0	1.6	2.6	1.7
	4年生	男	64	46	82	127	93	62	28	18	9	11	11	47	598
		女	98	43	74	91	122	58	46	33	41	41	36	85	768
		計	162	89	156	218	215	120	74	51	50	52	47	132	1,366
		1日平均	5.4	2.9	5.2	7.0	6.9	4.0	2.4	1.7	1.8	1.9	1.7	4.3	3.8
	5年生	男	25	20	7	21	53	15	23	22	27	20	20	18	271
		女	54	15	23	60	81	45	47	41	34	21	33	60	514
		計	79	35	30	81	134	60	70	63	61	41	53	78	785
		1日平均	2.6	1.1	1.0	2.6	4.3	2.0	2.3	2.1	2.2	1.5	1.9	2.5	2.2
	6年生	男	89	77	11	25	66	26	48	21	17	20	13	44	457
		女	57	13	18	37	30	16	36	22	51	26	21	55	382
		計	146	90	29	62	96	42	84	43	68	46	34	99	839
		1日平均	4.9	2.9	1.0	2.0	3.1	1.4	2.7	1.4	2.4	1.7	1.2	3.2	2.3
	合計	男	245	201	178	302	349	147	150	108	69	84	82	203	2,118
		女	283	131	289	364	407	242	230	217	218	193	205	387	3,166
		計	528	332	467	666	756	389	380	325	287	277	287	590	5,284
		1日平均	17.6	10.7	15.6	21.5	24.4	13.0	12.3	10.8	10.3	10.3	10.3	19.0	14.8

4. イベント・行事等参加状況(年計)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	22	20	19	29	30	18	20	21	20	17	21	24	261
組	55	79	96	141	100	64	123	64	79	60	117	122	1,100
男	83	82	86	183	193	62	95	75	72	64	119	137	1,251
女	120	128	156	298	259	122	191	131	147	107	246	246	2,151
合計	203	210	242	481	452	184	286	206	219	171	365	383	3,402